

製品名: Rho GDIγ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17125**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	ARHGDIG
別名	ARHGDIG; Rho GDP-dissociation inhibitor 3; Rho GDI 3; Rho-GDI gamma
遺伝子 ID	398.0
SwissProt ID	Q99819
免疫原	Rho GDIγ 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 110-190

背景

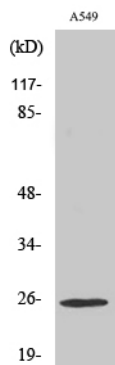
GDP 解離阻害剤 (GDI) は、GDP から GTP への交換を阻害することで、GTPase の活性化を調節する主要な役割を果たします。ARHGDIB (MIM 602843) を参照してください。[OMIM 提供、2010 年 11 月],機能: RhoB の GDP/GTP 交換反応を阻害しま

す。翻訳後プロセッシングを受けた RhoB および Rhog タンパク質の GDP および GTP 結合型と特異的に相互作用します。これらのタンパク質は、哺乳類細胞において増殖制御下で発現します。GDP 結合型 RhoB タンパク質の放出を刺激しますが、GTP 結合型 RhoB タンパク質の放出は刺激しません。また、RhoB の GDP/GTP 交換も阻害しますが、結合前の GTP の解離を阻害する能力は低いです。、類似性: Rho GDI ファミリーに属します。、組織特異性: 主に脾臓と脳で発現します。、

研究分野

-

画像データ



Rho GDI γ ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析